

課題名: ヒトゲノム *De Novo* 情報解析テクノロジーの創出

(代表者: 森下 真一 国立大学法人東京大学 大学院新領域創成科学研究科・教授)

長鎖 DNA 解読技術を用いたゲノム解読、構造変異検出において国際的な成果を上げている。さらに、バイオインフォマティクス手法を開発する研究者確保の課題を明確に意識し、戦略的な人材育成に取り組んでいる点、国際共著論文を含め国際誌に数多く掲載されており、当該分野における日本のプレゼンス向上に貢献している点、汎用性の高い構造変異クリニカルシーケンシング法に関して知財化の可能性がある点、GRIFIN 内の共同研究を積極的に進めている点なども高く評価できる。

今後は、医療実装へ向けた特許戦略、シーケンサーの技術革新への対応等に留意しつつ、さらなる発展が期待される。

当初導入したシーケンサーが陳腐化している場合には、新たなシーケンサーを導入することが望まれる。